



【特集】

技

高齢者や身体の不自由な方がゆったり寛げる空間づくり ～デイサービス施設のリフォーム～

●人によさしい空間・設備の充実

高岡市郊外の市営団地内に建つ特別養護老人ホーム「香野苑」。ブラウンの外壁が目を引き施設は、軟らかなゴムチップ舗装を施したポーチや、雨・雪にも安心な大型キャノピー、全室から出入り可能な三六〇度全周フラットベランダなど、人によさしい設備が印象的だ。



▲ブラウンの外壁が目によさしい特別養護老人ホーム。

館内に入ると、天然温泉掛け流しの真新しい浴場や、三〇〇名収容可能な多目的ホール、開放溢れる食堂、サントラスを設けたショールーム、イホール、一人・二人部屋、重介護室などが完備されてあり、入所者



▲広々と生まれ変わった空間。



▲施工後。ガラスのない、開放的な受付カウンター。



▲施工前

リフォームを担当した建設会社では、大空間を創造するために、これまで診療スペースと通路を分けていた間仕切り壁を解体。

●間仕切り壁を解体

リフォームのポイントは、デイサービス利用者が集い、趣味活動などを楽しめるように、車椅子に対応した大きな空間を確保すること。また、バリアフリーの使いやすいトイレの設置など、人によさしい空間・設備の充実を図ることだった。

やショールームステイ・デイサービスの利用者が心安らかにのんびりとした時間を過ごせるようになっていく。今回のリフォーム箇所は、二階正面から入って左手に位置するスペース。これまで別経営のクリニックの診療スペースと居住スペースになっていたが、閉院に伴い、地域のデイサービスの拠点として活用しようと、リフォームが行われた。リフォームのポイントは、デイサービス利用者が集い、趣味活動などを楽しめるように、車椅子に対応した大きな空間を確保すること。また、バリアフリーの使いやすいトイレの設置など、人によさしい空間・設備の充実を図ることだった。



▲手すりを増設した通路。



▲増設した階段。



▲使いやすいトイレ。

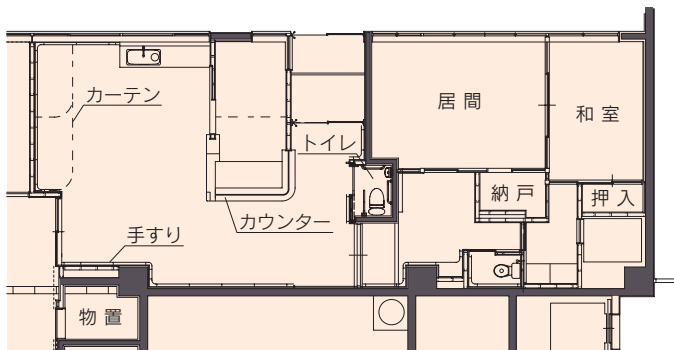


▲床暖房で冬場もポカポカ。

トイレのリフォームとして、段差のある空間に設けられた和式便器を洋式便器に取り替え、コーナーに縦長の手洗いを設置。また、三方向に手すりを設け、身体の不自由な方の利便性を高めた。間口を広げ、床をフラットにすることで、介助者が車椅子を引いてトイレ内に入れるようにしたことも特筆すべき点だ。スライディングドアにして、大型の引き手を取り付けるなど工夫を施したことで、車椅子での利用が可能になったという。

●床暖房に支障ないように工事を

香野苑では、冬場でも利用者が足元からポカポカと暖かく過ごせるように全館床暖房を採用している。床や壁のリフォームにあたり、敷設された熱源のパイプを傷つけないように慎重に作業が行われた。「パイプを一方所傷つけても修繕に手間がかかります。施設の過去の図面と現状を照らし合わせながら慎重に作業を進めました」。無事にリフォームを終え、施工担当者はホッと胸をなでおろしたという。



▲リフォーム部分平面図

福祉施設ということから、防音や防塵、防振、作業日数などを考慮しながら進められた今回のリフォーム。既存の躯体や設備を上手く活かしながら、利用者によさしい設計・設備を実現したという印象を受けた。

今月のオーナー訪問



高岡市 香野苑 施設長

『利用者の方々の笑顔に満足』

当苑では、地域福祉の拠点となるべく、デイサービスの充実に力を入れています。施設を利用される方にゆったりと過ごしていただけるように今回、リフォームを行いました。工事をお願いした建設会社は、これまで当苑の温泉施設の建設なども担当してくださり、その細やかな仕事ぶりをよく知っていましたので、床暖房などに関係する工事にも不安はありませんでした。

新しくなった空間で童謡を唄ったりしながら寛ぐ利用者の方々の笑顔を見ていると、リフォームして良かったと思えますね。



技のリフォーム

イワザ ミセマス
0120-183-304